

### 平成28年 第4回区議会定例会

期日	開会時間	会議・委員会の名称
11月29日(火)	午前10時	本会議(代表質問)
11月30日(水)	午前10時	本会議(代表質問・一般質問)
12月1日(木)・2日(金)	午前10時	常任委員会(総務区民、福祉健康、環境建設、文教子ども家庭)
12月5日(月)	午前10時	特別委員会(防災等安全対策、自治・議会・行財政改革等)
12月6日(火)	午前10時	特別委員会(オリンピック・パラリンピック・文化観光等)
12月8日(水)	午後2時	本会議(議案、意見書・決議等の採決)

◎本会議・委員会は傍聴できます。手話通訳者または要約筆記者の配置もできます(事前に議会事務局調査管理係へお問い合わせください)。本会議の様子は区議会ホームページ(<http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html>)でご覧いただけます。日程は変更になることがあります。詳しくは、お問い合わせください。

【問合せ】区議会事務局調査管理係(本庁舎5階) ☎(5273)3534・☎(3209)9995へ。

- 今回の定例会で審議する主な議案
- ◎ 予算案 平成28年度新宿区一般会計補正予算(第5号)
- ◎ 条例案 新宿区特別区税条例の一部を改正する条例
- 【問合せ】総務課総務係(本庁舎3階) ☎(5273)3505・☎(3209)9947へ。

● 募集案内の配布は 12月2日(金)～12日(月) 【募集戸数】▼抽選を行う住宅：区民住宅／3戸、特定住宅／15戸

▼先着受け付けを行う住宅：特定住宅32戸

※20年が経過した区民住宅を、引き続き15年の期間に限り、「特定住宅」として提供しています。特定住宅の使用期間は原則として5年で、使用料は定額です。

【申込資格】区内在住で義務教育修了前のお子さんがいて、世帯の収入が所得基準内(下表)の方。詳しくは、募集案内をご覧ください。

#### 所得基準表

家族数	年間所得金額
2人	227万6,000円～622万4,000円
3人	265万6,000円～660万4,000円
4人	303万6,000円～698万4,000円
5人	341万6,000円～736万4,000円

※所得金額は所得税法上の所得金額をい、給与所得控除後または必要経費控除後の前年中の所得金額です。計算方法は「募集案内」をご覧ください。※家族数には申込者本人を含みます。家族数が6人以上の場合は、1人に付き38万円を加算してください。

12月2日(金)からは、新宿区ホームページでも取り出せます。【申込み】募集案内に折り込みの申込書を、12月14日(必着)までに住宅課へ郵送してください。 ※今回の募集で入居者が決まらなかった特定住宅は、随時募集します。詳しくは、「広報しんじゅく」後号でご案内します。

## 区民住宅・特定住宅 入居者募集

【問合せ】住宅課区立住宅管理係(本庁舎7階) ☎(5273)3787へ。

# 平成29年度 予算見積り の 概要をお知らせします

区では現在、平成29年度の予算編成作業を進めています。今回は、第三次実行計画(計画期間28年度～29年度)で取り組む事業の一部について、29年度予算見積りの概要をお知らせします。全ての実行計画事業の見積りの概要は、新宿区ホームページでご覧いただけます。見積りに対する査定結果は、29年2月下旬にお知らせします。 【問合せ】財政課(本庁舎3階) ☎(5273)4049・☎(3209)1178へ。

### 基本政策Ⅰ

#### 暮らしやすさ1番の新宿

##### ◎糖尿病対策を中心とした健康づくりの推進 407万6千円

糖尿病の未治療者に対する受診勧奨と治療の継続支援を行うとともに、食生活や運動習慣の改善、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発に積極的に取り組み、糖尿病対策を中心とした健康づくりを推進します。

##### ◎認知症高齢者の早期発見・早期診断体制の推進 1,161万8千円

高齢者総合相談センターに「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症高齢者とその家族に早期に関わるための支援体制を構築します。また、「認知症診療連携マニュアル」を配布し、地域のかかりつけ医をはじめ、認知症高齢者に関わる関係機関が活用することにより、認知症高齢者の早期発見・早期診断体制を推進します。

##### ◎保育所待機児童の解消 14億2,410万6千円

新宿区子ども・子育て支援事業計画に基づき、私立保育所8所を整備し、待機児童の解消を図ります。

##### ◎放課後の居場所の充実 15億6,360万2千円

放課後子どもひろばと学童クラブ事業のさらなる充実を図り、総合的に小学生の放課後の居場所づくりを推進します。

##### ◎出産・子育て応援事業 5,702万9千円

すべての妊婦が妊娠から保健師等の専門職に相談できる機会を設け、不安やリスクを早期に把握するとともに、支援が必要な妊婦には支援プランを作成し、必要に応じた支援を継続的に実施します。

##### ◎特別な支援を必要とする児童・生徒への支援 (巡回指導・相談体制の充実) 1億1,124万5千円

特別支援教室を全ての区立小学校に設置し、発達障害の児童が在籍校で巡回指導教員による指導を受けることのできる指導体制により、発達障害の児童・生徒への支援を強化します。

##### ◎東京オリンピック・パラリンピックを契機とした教育の推進 2,917万円

伝統文化理解教育や障害者理解教育を推進するとともに、児童・生徒がスポーツや英語を楽しみながら取り組む機会を創出することで、子どもの生きる力を伸ばす学校教育の充実を図ります。

##### ◎生活困窮者の自立支援の推進 6,518万7千円

生活困窮者自立支援法に基づき、経済的に困っている方からの相談に対応する「生活支援相談窓口」において、引き続き自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、就労準備支援事業等の各種支援事業を実施します。

### 基本政策Ⅱ

#### 新宿の高度防災都市化と 安全安心の強化

##### ◎建築物等耐震化支援事業 13億9,433万9千円

木造住宅、非木造建築物の耐震改修等への補助を行い、建築物の耐震化を推進します。

##### ◎客引き行為防止等の防犯活動強化 5,634万3千円

「新宿区公共の場所における客引き行為等の防止に関する条例」に基づき、繁華街での客引き行為等に対するパトロール活動を実施します。

##### ◎空家等対策の推進 661万円

28年度に実施した調査結果等を踏まえて空家等の適切な管理の促進・有効活用のある方を検討するために、区の地域特性を考慮した空家等対策計画を策定します。

### 基本政策Ⅲ

#### 賑わい都市・新宿の創造

##### ◎新宿通りモール化 1,395万円

新宿通りを歩きやすく魅力的な空間としてモール化を行い、歩いて楽しい回遊性のあるまちづくりを進めます。28年度の検証結果を踏まえ、引き続きモール化に向けた検証を実施します。

##### ◎ユニバーサルデザインの視点に立った観光案内標識の整備促進 2,500万円

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、国内外からの来街者が多く訪れる新宿駅周辺の歩道等において、ユニバーサルデザインの視点に立った分かりやすい観光案内標識の整備を進めていきます。

##### ◎自転車走行空間の整備 6,748万円

自転車の走行空間を整備し、歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して通行できる道路空間を創出します。

##### ◎安全で快適な鉄道駅の整備促進 3,000万円

2020年東京オリンピック・パラリンピックやその後を見据えて、鉄道駅の安全性向上や快適な利用空間を整備するため、ホームドアおよびエレベーターの設置促進を図ります。

##### ◎資源回収の推進 9億523万6千円

資源回収を推進し、資源化率の向上に努めるとともに、蛍光灯を含む水銀使用製品等の適正な回収・処理に取り組みます。

##### ◎漱石山房記念館の整備 6億4,321万円

夏目漱石生誕150周年にあたる29年9月の開館に向けて、漱石が晩年を過ごした「漱石山房」の書斎などの一部復元を含む「漱石山房」記念館の整備を進めます。

### 基本政策Ⅳ

#### 健全な区財政の確立

##### ◎行政評価制度の推進 635万1千円

区が行う施策や事業が区民や地域社会にもたらす成果や実態を客観的に評価し、評価結果を区の政策形成の基礎とすることを目的に、行政評価を実施します。評価にあたっては、区が行う内部評価に加え、外部評価のしくみを取り入れ、客観性・透明性の高い評価を行います。

### 基本政策Ⅴ

#### 好感度1番の区役所

##### ◎区民の視点に立ち自治の実現に努める職員の育成 1,530万9千円

実務を遂行するうえで欠かせない知識の習得を通じ、基礎的能力を向上させるとともに、区民起点で考え、区民と協働し、職場や仕事を改善する職員を育成します。

### 予算編成の流れ

